



## かんり部会組合員との意見交換会開催



@おだわらUMECO

6月17日におだわらUMECOにおいて、「かんり部会組合員との意見交換会」を開催しました。この間、管理者でありながら組合員として奮闘し、そして国鉄改革を血と汗と涙で担ってきた山本さんからの講演をいただきました。講演の中では、自らも国鉄改革で出向を担い、そして生まれ故郷を離れて広域異動を担ってきた経験を語っていただきました。また、JR東日本発足当初から現在に至るまでの経験や裏話など、多岐にわたる話をいただきました。講演の中で**血の通った管理者でありたいという思いから「かんり」が冷たい表現に見える漢字ではない。管理者は「人の心でかんりするのだ」ということ**もいわれていました。自分がこの先、**後ろ指を指される人生を歩んではいけないという思いと、国鉄改革を担う上で鉄道が好きで国鉄に入社し、鉄道に残りたくても仲間のために若き青年労働者が公的部門へ異動したり、早期退職を選んだ同期や仲間がいる。そういった人たちがいることを蔑ろにして組合を辞めるわけにはいかないのだ**ということも話されていました。組織のため、仲間の大切さというのは必ずどこかで縁を結び、退職を迎えてもつながりが持てるのはJR東労組だからこそできることなのだとことも言われていました。

今回、若い世代になぜ話をするのかということに関して、「**自分の生きざまを年寄りに聞かせても意味がない。青年部世代はこれから約30年この会社で働かなくてはならない。自分が働いているうちに伝えていく必要があるのだ**」という強い思いが述べられていました。

### 人の心が通った運動ができるのは

### J R 東労組だけであることに自信と確信を持ち

### これからの青年部組織をともにつくりだそう！